

個別施策 I - (2)

多様な担い手が活躍する機会をつくる

重要業績評価指標 (KPI)

指標名	単位	実績値					目標値
		計画策定時	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
創業支援件数【年間】	件	93	135	157			180
新たな農の担い手数【累計】	人	8	17	24			38

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- 創業支援事業計画に基づき、商工会議所と連携し、起業の情報提供や事業計画の作成支援を行うとともに、優秀な事業計画を認定し、事業化に向けて支援することで、創業風土の醸成に寄与しました。
- 金融機関等と協議・調整や、創業資金など各融資制度や補助制度を拡充するとともに、商工会議所等と連携し、創業後の経営安定を図りました。
- 市内企業と大学との共同研究（3件）に係る費用の一部を補助し、中小企業の技術力向上を図りました。
- 平塚海洋エネルギー研究会を発足し、波力発電実証実験に係る実行可能性調査や波力発電導入可能性調査を実施しました。また、研究会を通じた人材育成や情報共有プラットフォームを構築するとともに、会員提案のあったビジネスモデルについて、研究を開始しました。
- 事業者へ専門家の派遣や見本市への出展支援を行い、販路開拓や課題解決を図りました。更に、地域金融機関と連携協定を締結し、経営総合支援拠点を構築しました。
- 湘南地域担い手育成総合支援協議会において、新たな担い手の育成・確保や「人・農地プランの策定」に向けた取組を支援しました。
- まちづくりを担う次世代リーダー向けの啓発セミナーを開催し、商店街活動の機運を醸成しました。

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<ul style="list-style-type: none"> ●創業風土の醸成や事業計画の実現及び起業後の経営安定化や事業拡大のための支援を継続して実施するとともに、各融資制度や補助制度をより利用しやすくする必要があります。 ●産学公の共同研究については、中小企業等のニーズと大学等のシーズを結びつける「場」の充実を図る必要があります。 ●産学公の連携強化を図るため、再生可能（海洋）エネルギーに関する実証実験等を通じて、新産業の創出を研究するとともに、市内企業の参画や人材育成を図る必要があります。 ●事業者が抱える経営課題を総合的に解決していく必要があります。 ●農業に関わる様々な相談に対応するため、相談窓口の機能を充実していく必要があります。 ●中心市街地の活性化を促進するため、牽引役となる人材の育成が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ●起業者の育成を図るため、商工会議所や平塚信用金庫との連携を強化することで、起業者を掘り起こすとともに、起業者に対する経営の見守りなどの支援や経済情勢やニーズに応じた金融支援に取り組みます。 ●産学の連携を促進するため、テクノフェア等の事業を実施する過程で中小企業のニーズや大学のシーズの把握するとともに、情報交換の機会を充実させます。 ●新しいしごとのタネの創出や人材育成を図るため、平塚海洋エネルギー研究会を通じた技術課題や波力発電装置をシーズとした新産業創出のスキームを研究します。 ●中小企業の経営安定と振興を図るため、中小企業の支援を金融機関と連携して、「ひらつかビジネス応援窓口」に取り組みます。 ●地域農業の経営力向上を図るため、関係機関と連携して、農業支援ワンストップ相談窓口を出張して開催するほか、農作業受委託組織に農業機械等購入費を一部補助します。 ●中心市街地のまちづくりに参画できる人材を育成するため、セミナーや研修を実施します。
関連する【取組】と（事業）	
<ul style="list-style-type: none"> 【次世代の産業の担い手となる起業家の育成】（起業家支援事業）（中小企業経営支援事業） 【企業や大学の有する情報や知識の結合を促すことによるイノベーションの誘発】（産学公共同研究支援事業）（波力発電関連分野での新産業創出促進事業） 【専門家の派遣による中小企業の販路開拓や経営力強化の支援】（中小企業経営支援事業） 【中小企業に対する融資制度の紹介や経営改善相談】（中小企業経営支援事業） 【農業の多様な担い手の育成支援や地域農業の活性化支援】（担い手総合対策事業） 【中心市街地の活性化のための担い手の育成支援】（商店街にぎわい創出事業） 	